

2017年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時: 2017年6月20日(火) 18:00~20:03

場所: 聖路加国際大学 1階 大会議室

議長: 鶴若麻理(副委員長)

出席委員: 鶴若麻理、小野若菜子、小林京子、縄秀志、高橋奈津子、宮坂勝之、松井陽、小松康宏、中村めぐみ、墨岡亮、鐘ヶ江真知恵、神里彩子

欠席委員: 片岡弥恵子

(出席者 12人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査)、司会:副委員長 鶴若麻理

① 福富 理佳(助産学 修士)

「Evaluation of Behavior Change of Midwives in Six Weeks After Introducing Early Essential Newborn Care at an Urban Tanzanian Healthcare Facility

タンザニア都市部の医療施設で働く助産師の早期必須新生児ケア(EENC)導入後6週間の行動変容評価」

研究責任者(福富 理佳氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

② 江川 優子(公衆衛生看護学 博士後期)

「重篤な状態あるいは死亡となった児童虐待事例を担当した市区町村保健師の体験」

研究責任者(江川 優子氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 保留

③ 五十嵐 ゆかり(助産学 准教授)

「外国にルーツを持つ子どものリプロティブヘルス向上のための教育プログラムの開発」

研究責任者(五十嵐 ゆかり准教授)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
17-A016	妊婦健診における看護師とのコミュニケーションの向上を目指した妊婦グループ介入の実行可能性の検討	助産学	博士後期	岡 美雪
17-A018	脳卒中による片麻痺のある独居高齢者が退院後の排泄動作を獲得するまでのプロセス	在宅看護学	修士	田中 悠夏
17-A013	未就学児育児中の看護師のワーク・ライフ・バランスの構成概念と関連要因に関するインタビュー調査	公衆衛生看護学	修士課程	宇井 秋子

17-A014	<老成学>の視点から高齢者の生き方に関する調査:新老人の会会員へのアンケートを通して	基盤領域	准教授	鶴若 麻理
17-A015	スタッフの妊娠・出産と職場のマネジメントに関する病棟師長の意識	ウィメンズヘルス	博士後期	田中 由美子
17-A023	女性乳がん患者の妊孕性温存に関するわが国の実態と看護職の学習ニーズを把握するための全国調査	がん看護学・緩和ケア	教授	林 直子
17-A025	PICS(post-intensive care syndrome; 集中治療後症候群)発症高リスク患者に対するICU看護師のケアの実際と認識	急性期看護学	修士	鎌田 未来

3. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	15-A031	ハンセン病回復者のアドバンスケアプランニング(終末期医療に望むケアを事前に考えるプロセス)の研究	基盤領域	准教授	鶴若 麻理
変更申請	15-A076	小児急性骨髄性白血病(AML)経験者の就学・就労促進に関わる要因と支援に関する研究	小児看護学	教授	小林 京子
変更申請	16-A075	産科に携わる看護職を対象とした 虐待予防のための教育プログラムの開発	助産学	教授	片岡 弥恵子
変更申請	16-A087	手術が必要な身体疾患を有する統合失調症患者の意思表示に対する看護師の対応	精神看護学	修士	古賀 郁衣
変更申請	17-A010	地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発-デルファイ調査-	公衆衛生看護学	教授	麻原 きよみ
終了報告	15-A031	ハンセン病回復者のアドバンスケアプランニング(終末期医療に望むケアを事前に考えるプロセス)の研究	基盤領域	准教授	鶴若 麻理

4. その他審議・連絡

- ① 副委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。

5. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2017年7月18日 18:00～ (1階 大会議室)にて開催。